

研究のキーワード

自動車衝突安全・予防安全、自動運転、交通事故分析

9	産業と技術革新の基盤をつくろう	11	住み続けられるまちづくりを	12	つくる責任 つかう責任
					

実習テーマの例

- ドライビングシミュレータ上で危険な交差点モデルの作成と評価をしてみよう

	実習回数		
	1回	複数回	半年・通年
● ドライビングシミュレータ上で危険な交差点モデルの作成と評価をしてみよう	-	○	-

実習テーマの内容



ドライビングシミュレータ

自動車の運転を疑似的に再現・評価するドライビングシミュレータを用いて、交通事故が起きそうな危険な道路モデルを作成します。さらに、作成した道路モデルを実際にドライビングシミュレータ上で走行し、交通事故の要因となる状況を体感します。



道路モデルと交通事故リスク評価

ドライビングシミュレータを用いて評価した結果を用いて、様々な切り口から交通事故要因を考え、事故に繋がる要因を分解、整理することで、交通事故防止に必要な考え方を習得します。

高校で実習を行う場合に準備が必要となるもの

大学の設備を使用するため、高校での実習はできません。